

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	シルビアンスポレク療育観真壁		
○保護者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 5月 16日		2025年 5月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員を含む職員が利用児童主体で日々支援を行っている。	児童が前向きにがんばれる、過ごせるよう言葉かけの工夫や個性を活かせる活動を提供しています。一般学校に通学している児童、特別支援学校どちらもいますが各々の個性に合わせた関わり方を行い、状況に応じ個別、集団での支援を行っています。	今後も児童の気持ちを尊重しながら支援を行うが、児童の成長に合わせた対応を職員が意識する。一年ごとに進級、成長し次のステージにステップアップする児童に目的を持ってもらうことができるよう児童と来年、将来の話をする機会をつくる。
2	家族に寄り添うことを大切にしている。	家族の負担が軽減できるよう要望は応じられるよう柔軟に対応しています。また困り事や相談にも傾聴の姿勢で応じています。	家族支援ができるよう、職員にペアレントトレーニングについて学ぶ機会を儲けたい。
3	運動身体を動かす活動ができるスペースが屋外、室内にもある。雨天でも運動ができる。近隣にも公園が多く施設外活動も行いやすい環境である。運動療育を通して児童の心と体の成長、社会性の向上を目指している。	来所毎に身体を動かす機会を設けています。児童によって身体を動かす活動の好みがそれぞれなので、体操、球技、レク遊びや散歩など利用児童と一緒に考えて、楽しんで参加できるようにしています。	新しい運動を導入したり、屋外でできる運動の増加(休校日に)をしたい。児童からもっと要望を聞き取り、運動療育を強化したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族参加型の行事が少ない。	コロナ感染症後から自然消滅的な感じでそのまま、家族参加型の行事を行わなくなっている。登校日は家族も仕事や家庭のごとで参加が難しいのと時間調整が難しいのも実態である。	児童と一緒に参加の行事にこだわると家族参加の機会が作れないのでアトミックな要素での保護者会を午前中に今年度一回でも開催ができたかと考える。
2	非常災害対策等の周知ができていない。	発信が少ないのと、定期的な案内ができていない。	今年度は更新したうえで非常災害対策、感染症対策のBCPをホームページにもアップをします。また定期的に行っている非常災害対策の訓練、活動についても通信で複数回お伝えしていきます。
3	支援後の振り返り、打ち合わせが少ない。	退勤時間が船員一緒ではないため、何名かはどうしても翌日、共有LINEを通しての情報共有になることが多い。	終わった後全員参加は今後も難しいが、小さなことでも情報が共有できるように今後も今できるLINEグループでの情報共有を継続していく。皆がもっと支援のことを共有でき、効果的な方法がないか検討を続けていく。